

「総天然色！考古資料のあざやかな世界」
「色と絵～彩のひみつ～」

取材しました！

当日の参加者

○子ども記者

阿部多香子、板谷果穂、小川さくら、栗本帆夏、
栗本百花、野本 遥、原田詢矢、三浦百葉、
分里心音、綿貫里咲

○おとな記者

武田正哉館長、細矢久人学芸員、大谷明子学芸員
レオちゃん、めっちゃん（樽前 arty+）

ーお知らせー

次回の活動日 ▶
来年2月13日
（土曜日）

今年度最後の活動に
なります。

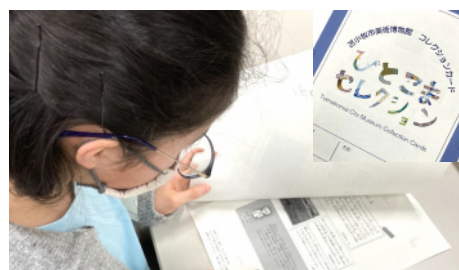
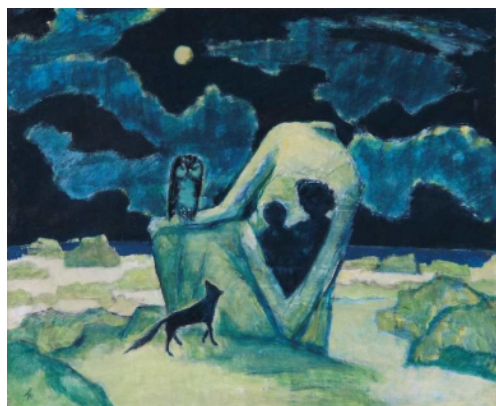
準備じゅんぷ

取材しゅざい

記事きじ・イラスト



今日取材する展覧会は2つとも「色」がキーワード。大昔の人が作ったものはどんな色だったんだろう？ 芸術家たちはどんな色で世界を見ていたんだろう？ 「色」を通して、想像してみよう！



前回作ったびとごまセレクションカードを校正しました。



グラデーションのように展示した色とりどりの絵画にうっとり。



大昔のガラス玉、キレイ！



恵庭のくし職人すごい！
漆（うるし）すごい！

今日は色彩が豊かな1日でした。絵画では同じ赤でも芸術家によって違う赤を使っていて、その違いを興味深く観察していました。考古の資料でも様々な赤色、緑も青もアオとよび、黒にも色々な素材があることがわかりました。今日も記事もイラストも一気に仕上げました！



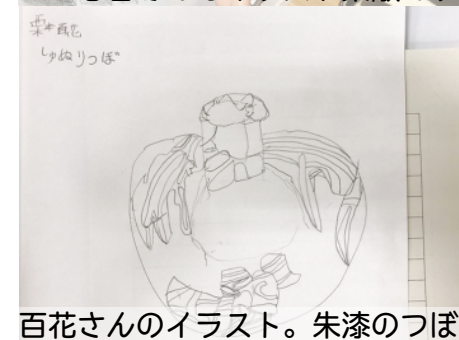
さくらさんは文章もイラストもどんどん完成させます！



原田くんは文章が得意だね。



心音さんモイラスト素敵です。



百花さんのイラスト。朱漆のつぼ